

# さんくす

## 阿左美アンダー交互通行に難題？

当初は5月末頃の完成を目指して工事が進められている阿左美アンダーですが、大幅に遅れている理由を調べてみました。その結果、信号を設置するためにはガードレールの改修などが必要になるなど、新たな課題が発生していることが判明しました。

阿左美アンダーは東武線の北側と南側をつなぐ地下通路で、地元住民だけでなく多くの小学生や、農家が水田への農作業で利用する重要な地下通路です。阿左美バイパス拡幅のため、線路の北側の位置や構造の変更をすることとなりました。

工事が既に着手された令和3年に「阿左美アンダーを一方通行にする」旨の連絡が桐生警察署から地元区長らに届きました。これを受けた区長らは、これまで同様の交互通行を強く求めました。

信号機設置の有無により工事内容が変わるわけですが、本年7月に入り桐生警察署から「線路南の信号機設置予定場所付近の道路幅が狭く、ガードレールの改修をしないと信号がつけられない」という連絡が桐生土木事務所とみどり市に入りました。

桐生土木事務所では「線路南は関わっていないので



工事が止まり雑草が伸びた北側

手が出せない」とのことです。みどり市は「急に言われても予算組みをしない、対応には時間が必要」とのことでした。

完成が遅れている理由としては、信号機の設置、下水道整備、用水路改修問題など、各関係機関の調整不足も一因と考えられます。

阿左美アンダーについて桐生警察署に取材申し込みをしたところ「区長に説明をした後でない」と答えられない」とのこと、取材に応じていただけませんでした。

## 阿左美アンダーまずは歩道から

8月には阿左美アンダー側道の下水管の設置が行われることになりました。その後、舗装工事と歩道部分の工事が終了すれば、9月末から10月頃に歩道部分の共用が開始できることになりそうです。

ガードレールの改修についてみどり市は「早めに予算を組みたい」としているものの、改修時期については現時点で決まっておらず、車道は完成しても信号機がなければ共用開始とはならないため、車の往来が可能になる時期については全く予定が立っていません。阿左美アンダーは多くの子どもが使う通学路です。1日も早い完成が望まれます。

学び橋付近の歩道橋について桐生土木事務所は「阿左美アンダーの歩道部分が使えるになれば歩道橋を撤去することは可能だが、笠懸東小学校と相談して決めたい」と話していました。4面に関連記事。



改修を求められた南側

## 散歩道 (21) あざみまなび橋

あざみまなび橋は、笠懸東小学校の新設に伴い通学する児童の安全対策の一環で整備され、昭和51年8月3日に総工費1億4,330万円、全長189m、幅員6m、歩道2mの陸橋が完成しました(写真)。

ほとんどの児童は国道50号線や県道桐生伊勢崎線を越えて通学することになるので、保護者の皆さんの関心度は高く、当時の笠懸村で開いた説明会で、村側は

東武線に「陸橋をつくる」と参加者に確約していたとのことです。



笠懸小が荒神山と東武線に囲まれ、立地的に難のあった用地であっただけに早急な完成が望まれていましたが、阿左美沼土地改良区云々もあり、完成は開校から4カ月遅れとなりました。陸橋の整備により児童たちが安全に通学できるようになったので、保護者の皆さんは安心したようです。

## 納涼祭中止について

本年度予定しておりました第三区納涼祭について、行政区を中心に関係各部署と協議を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染が拡大にすする中で、十分な感染対策が困難なことから、区民の皆様の健康を最優先とし、今年度の開催は中止することになりました。

来年度こそは納涼祭が開催できるように準備を進めることになりましたので、ご理解と引き続きのご協力をお願いします。

## 公民館屋根補修工事について

昨年度より計画されていた第三区公民館屋根補修工事を、令和4年8月8日(月)から8月31日(水)の間に実施することになりました。補修内容は屋根の塗装等です。

野外工事のため天候等により工期が前後する可能性があります。なお、この間の公民館使用は通常どおり可能です。

## みんな笑顔で楽しくグラウンドゴルフ

第6回行政区グラウンドゴルフ大会が、6月11日(土)午前9時から、あすかホールグラウンドゴルフ場で行われ、女性12人・男性21人が参加しました。

第三区グラウンドゴルフ同好会会長の高野千歳さんは「本大会はプレーの競技会ではなく、三区の親睦・交流を目的としたレクリエーション活動のグラウンドゴルフですので、皆さん、本日は楽しい時間を過ごして下さい」と挨拶しました。

試合開始直後、なんと女性の方が1ホール目でホールインワン(エース)を決めてビックリ!!最初からうれしい笑顔が飛び出しました。今大会は初めて参加した人や、競技大会で活躍している人が一緒になって元気に楽しくプレーが出来て、とても良い大会になりました。三区区民であればどなたでも参加できます。



また、大会では、軽運動で体力維持の講話がありました。その後、体操やレクリエーション(輪投げ)が行われました。

## わかばサロンで詐欺被害防止の講話

6月2日(木)、午前10時から三区公民館において、みどり市社会福祉協議会主催のわかばサロンが開催され、24人が参加しました。今回のテーマは「暮らしの安全・詐欺手口の情報」でした。はじめに桐生警察署生活安全課企画係の渡辺



軽い運動で体力維持

さんから特殊詐欺と生活上の注意点について講話がありました。その後、体操やレクリエーション(輪投げ)が行われました。

講話では、1月から4月の詐欺被害件数は県下67件、みどり市では7件と報告されました。

詐欺手口の特徴として必ず予兆電話があり、「銀行員、息子、子ども、市役所職員、預金協会、キャッシュカード」といった言葉には要注意です。予防対策として、留守番電話に設定しておくことや、警察で貸し出しをしている特殊詐欺対策機をつけることなどが効果的です。お金の話が出れば詐欺電話とのことです。

参加者の方から詐欺電話を受けた体験談がありました。その内容は役場の職員を名乗り、カードと通帳を用意させるもの。特殊詐欺への対策は警察だけでは限界があり、地域の方々のお力添えが必要とのことです。困った時には直ぐに110番や消費生活センターへ連絡をしてくださいとのことです。

## 笠懸町第三区安全安心推進委員会

長い名称で、安全と安心のどちらが前に来るのかわからなくなる団体ですが、「青パトが主な活動」と聞けばピンとくる方が多いことでしょう。この団体に対し、昨年度の評議委員会で「実施者の高齢化」を理由に、青色防犯パトロール活動を休止し、新たな活動形態を模索するよう報告が上がっています。

さて、青パトの歴史を振り返ると、2010年12月10日から11日にかけて24時間青色防犯パトロールが行われました(写真)。

24時間のパトロールは日本初のこと、桐生警察署からも多大な協力がありました。

開催目的は、パトロール員の確

保でしたが、注目すべきはその参加人数です。当時のデータを見ると、乗車人数は延べ500人、走行距離は1,000キロに達しました。

500人という数は、三区の人口が約3,000人ですから、区民の6人に1人、世帯でいえば2軒に1軒の参加があ



テレビでも報道されました

ったこととなります。つまり、青パトを通して防犯意識の高い地域作りが行われたということです。

地域安全を考えるのが当委員会の役目ですが、青パトを止めていいのか、地域安全は確立されたのか、本紙に連載して区民の皆様とともに考えていきたいとおもいます。 委員長 新井栄

## こども育成会について

永年にわたり、主に小学生から中学生までの保護者の方に役員としてご協力いただき活動していて、三区には欠かすことができない団体の1つでもあります。

近年はコロナ禍のため活動を自粛していましたが、地域に居住している子ども達が楽しみにしている行事を再開することで、子ども達が地域で楽しく過ごすことができ思い出にもなる。それが地域の活性化にも繋がり、子ども育成会の役割であると考えました。

4月から新役員体制となり第1回目の会議を4月に開催し、できる行事は再開していくことを全役員一致で確認しました。子ども育成会には主な役割として、会長、副会長、書記、会計がありますが、資料とデータの引継ぎをしていますが、近年は活動していないので活動方法が解らないのが現状でした。

そこで、三区広報(さんくす)委員で育成会取材担当の方に相談したところ、元会長経験者でした。今年度は、その方の全面的なフォローのもと、できる行事を再開していくこととしました。

三区の各種団体でも役員の入替わりはあると思いますので、活動を再開する時は経験者に聞いて、経験者は協力していくことも地域の助け合いの1つでもあると思います。そして多くの団体が活動を再開することで、地域の活性化にも繋がるのではないのでしょうか。

三区に居住している子ども達が楽しみにしていることは終息させてはなりません。子ども育成会の行事は感染防止対策を十分考慮して開催するので参加してほしいと思います。

ここ数年は育成会役員を引き受けてくれる方が大幅に減少しています。今年度の途中からでも大歓迎です。来年4月からの新役員として引き受けてくれる方を募集する時期には是非ともご協力をお願いいたします。



## 小沼西でマリーゴールドを植栽

6月18日(土)午前7時より農地と水阿左美地域環境保全協議会の景観形成事業として小沼西道路沿いにマリーゴールドを植栽しました(写真)。この事業は地域の人たちと協力して景観の維持や保全をすることを目的としています。

協議会役員や構成団体長さんなど13名が参加しました。小沼周辺は春は桜、初夏には紫陽花、沼内には睡蓮が紅や白色の蕾を膨らませています。今夏はマリーゴールドの橙や黄色が映えて地域の景観美化に役立つことでしょう。

## 資源ゴミ回収で育成会活動資金

近年はコロナ禍で活動を自粛していた子ども育成会の資源ゴミ回収を今年度は再開することとしました。第1回目は6月26日(日)に開催され18,769円の収入がありました。



持参した区民の方から、再開を待っていたとの声も多くありました。収入金は三区育成会活動の財源として、子ども達のために有効活用させていただきます。

第2回目は次のとおり開催予定。

開催日時: 11月20日(日)9:00~11:00

開催場所: 三区公民館

内容品: 新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶、スチール缶、ビール瓶、一升瓶。(瓶は茶色のみ)

## 育成会主催で早朝ラジオ体操

三区育成会主催による早朝ラジオ体操が7月21日(木)~30日(土)まで三区公民館で開催されました。

期間中は毎朝6:45からラジオ体操をして、夏休み中でも早起きをして元気な体を作ることを目的に毎年開催しています。

近年はコロナ禍のため中止していましたが、今年度は子ども達の喜ぶ姿を取り戻すため再開しました。以前は皆勤賞を渡していましたが、今年度は皆勤賞ではなく毎日の参加受付時に参加賞を渡す仕組みとしました。

今年度は三区居住の幼児から中学3年生まで39人が頑張って参加していました。

さんくすがインターネットでも見られます  
<https://sannkusu-kasakake.com>  
 右のQRコードを読み込んで下さい



## 深夜に歩道橋設置工事

阿左美駅前歩道橋の橋梁の設置工事が6月17日(金)の深夜から翌朝にかけて行われました(写真)。

夜10時頃から阿左美駅周辺を通行止めにする、大型クレーンや足場の養生をおこない、11時40分に橋梁にワイヤーがかけられると、長さ約20メートル、重さ15トンを超える橋梁がゆっくりとつり上げられました。両端にかけられた



ロープにより角度を調整しながら、道路の南北に予め準備された橋脚にゆっくりと下ろされました。

この歩道橋は、1期工事は県道をまたぐもので、9月末の利用開始を目指しています。東武線をまたぐ2期工事は、年度内を目指していますが、遅れる可能性もあるとのことでした。



## 東小学校で田植え

6月16日(木)晴れ、午後2時から約2時間、東小学校5年生の総合学習の一つであるモチ米苗(5月26日、種もみ蒔き)の田植えが行われました。

参加者は東小5年生85名と先生保護者、地域協力者、15名、計100名による作業でした。感染予防レベルが下がったことから、圃場に3年ぶりに3クラスが集まりました。

コロナ感染予防に配慮し田に入る人数を分け、クラスごと交代の作業になりました。

植え付けの説明を受けたのち、泥土に足を取られながらも生徒たちによって苗植えが元気に行われていました。

田植え機による作業も披露されましたが、手作業の楽しさ、大変さも同時に学べる有意義な時間でした。

今後は10月中旬に稲刈り、脱穀、もち米配布という計画になっています。

## コロナワクチン接種の4回目が始まりました

7月23日から4回目のワクチン接種が始まっています。また、7月22日から群馬県の警戒レベルが1から2に上がっています。

接種を受ける人は次の点にご注意ください。

- 接種を受けるには、市が発行する接種券が必要です。
  - 60歳以上の人で3回目接種から5カ月経過する人へ接種券を郵送します。
  - 18歳から59歳までの基礎疾患を有する人の接種券は申請が必要です。
- ※対象となる基礎疾患や、申請に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。

○ワクチン接種をお待ちの方々へ

ワクチン接種をお待ちの方は、出かけたら「手指消毒とうがい」を行い、感染予防に努めましょう。

○ワクチン接種をしていない方へ

市では、毎月1回集団接種を実施していますので、2回目のワクチン接種が未実施の方や、1回も接種していない方も市へお問い合わせください。

## ちょっとピンぼけ

最近の流行でレジャー用の小型の蓄電池を買いました。それとセットで持ち運べる太陽光パネルも一緒にポチリ(散財)。

購入に際し家族の理解を得るために懸命に必要性を説き、何とかしぶしぶですが購入に漕ぎつけました。インターネットで調べたりお店で見たり、それは大変な作業で泣き笑、プチお家騒動でした。

パネルは市販の発電機に及ばぬソーラー電気量の150w発電です。蓄電池はリン酸鉄タイプで安全性が高く対応年数が従来品の倍以上です。インバーター式蓄電池で1Kw出力の増設可能です。

レジャー用でスマホやパソコン他、小型冷蔵庫等の家電を動かす目的の購入です。ところが、今更ですが、晴天でも満充電まで16時間以上、家庭用100vコ

ンセントなら4時間位となります。使用は満充電後パススルーで使うと理解しながらも、機械の消耗が怖くて試験で1回しか使わず1か月以上しまったままです。3ヶ月以内に80%充電が必要です。

ところで、電力不安の中、現在2~3Kwのインバーター発電機市販されています。ガソリンタイプの他にカセットガスボンベ式、プロパンガス、ガソリン併用タイプで100v200v出力可能なハイブリッドタイプと様々です。

コストの問題もありますが、一つの方法として、停電等の緊急時に昼間は発電機や補助的にソーラーパネルから蓄電池に充電し、夜間は蓄電池使用という使い方はどうですか。災害などの緊急事態はないのが理想ですが、この先の不透明さも視野に、個々の自衛の策も必要な時代では? 懲りずに発電機、蓄電池、購入事業に期待する人:さんくたろう